

【小学校5・6年の部】

最優秀賞 道は自転車と自動車のものじゃない

高倉小学校 長谷川 蒼さん

僕は、このまんがを読んで、たしかに中京区には細い道もあって、特に自転車や自動車が路上駐車してある道は危険が多いなと思いました。そして、通学途中に車がよく通っていて、いつも「気がつかなかったら危なかったわ！」とよく思います。また、通りにお酒の缶がポイ捨てされているのもよく見ます。

僕はこのまんがを通して、道は自転車や自動車のものではないんだと思いました。ちゃんと歩行者だっているのだし、何よりも中京区に住む人の公共の場所なのだから。路上駐車の前が見えなかったり、路上駐輪で危うく転びそうになったこともあって、僕自身、路上駐輪には気をつけようと思いました。

他にも店舗看板編で、看板も邪魔だったと思ったことは星の数ほどあります。僕はこんな中京区でも、ちゃんと駐車場に車を止めている人もいるし、自転車を放りっぱなしにせずに、お店に書いてある駐輪場に停めている人を見るし、そういった行動を見ると感心します。僕はそんな京都の他の人を思いやれる人になって、貢献したいと思いました。

おばあちゃんの道子が言っていたとおり、昔は車や自転車も少なかったようで、昔のように車や自転車が少なかったらなと思いました。でも、今の時代、そんなことはかなわないから、僕は路上駐輪をしない、自転車や車に注意して中京区の中で楽しく過ごしていきたいと思いました。

優秀賞 安全安心な楽しい町へ

御所南小学校 井上 樂一さん

ぼくは、この本を読んで、もっと安全に通りを使って、みんな楽しい町にしたいと思いました。そのために、交通ルールをしっかり守りたいと思いました。

まず、最初の自転車のお話では、二人乗りや、高速運転や、路上に止める事など、たくさんいけない事について書かれていました。そのいけない事のほとんどが、自分のしていた事でした。だから、交通ルールを守って、安全運転をととても意識したいと思いました。

次のお話では、ゴミが道に捨てられたり、クルマのきけんな運転などで、歩みにくいような様子が書かれていました。まずゴミは、道に捨てないよう心がけているので、これからも心がけたいと思いました。クルマは、自分はまだ運転できないけれど、家族で安全について話しあって、交通安全の意識を高めあって、安全安心で、くらしている人のだれもが楽しい町にしたいと思いました。

次のお話では、道にはみ出しているかんばんについてかかれていました。道にあるかんばんは、歩く人はよけないといけないし、そのせいで、車道に出てしまってあぶないので、店のしき地内にかんばんを置くようによびかけたいと思いました。

その後のお話では、再配達についてかかれていました。再配達が入ると、道がこんだり、もう一度いかなければいけない人も大変だし、かんきょうによくないので、再配達しないよう心がけたいと思いました。そのために、たく配ロッカーに入れるのは、ロッカーを使って、できないのは、家にいとくように予定を合わせるように工夫して、再配達しないようにしています。

このお話で、通りについて考えさせられました。そして、安全で楽しい町にしたいと思いました。そのためには、交通ルールを守り、みんな安心できる通りにすることだと思い、自分も安全な暮らしをしたいと思いました。

優秀賞 「思いやり・優しさのまち」

高倉小学校 中井 葡乃香さん

私は「マンガで知ろう！通りの復権と歩いて楽しいまち」を見て、一番感じたことは誰もが交通ルールや通りの作法を守ることです。やはり、そういったものは乗り物に乗ったり、運転している人が守るべきものというイメージが付いていますが、主人公の女の子のように、その道を歩く人は「前後左右をよく見る」や、お店の人は「かんばんが道路にでないようにする」など誰もが気をつけたり守ったりしないといけない交通ルールもあると分かりました。

また、同じ道を通る誰かの事を想って利用し、お互いが親切にし合うことが通りの作法ではないかと思います。ただ何か決められたことを守るだけでなく、通りの作法を意識し、思いやりや優しさを感じられるまちをつくっていきたいと思いました。

優秀賞 みんなで通りの作法を守って気持ちよく、通りやすい道へ

朱雀第四小学校 福田 莉那さん

私は、「マンガで知ろう！通りの復権と歩いて楽しいまち」を読んで、いつも私たちが通っている「道」で起こっている危険なことや、みんなが守る約束である、通りの作法がわかりました。そして、通りの作法をみんなが考えて守れるようになればいいと思いました。なぜなら、みんなが通りの作法を守れば、子どもからお年寄りまでだれもが、安全で安心して通れるようになると分かったからです。

お話に出ていた「一人ひとりの少しの配慮でみんなが安全に通れる道ができるって、もっと伝えていきたいな！」という言葉に共感して、私もそうしていきたいと思いました。

一番心に残ったのは、再配達についてのお話です。それは宅急便の再配達を減らすことで、宅急便を運ぶトラックの駐停車や走行を減らせるという新しい発見ができたからです。再配達を減らせば、トラックが排出する二酸化炭素の量を減らす事ができ、地球温暖化を防ぐ取り組みになることを知っていて、再配達を減らすことが大切だと思っていたけれど、このお話を読んで、より大切だと思いました。

また、ポイ捨てしないことや、自転車のスピードを出しすぎないことは自分でもよく気をつ

けられると思うので気をつけたいです。他にも、たくさんあるルールを考えてしっかり守って
いきたいです。

このマンガを読んで、通りの作法を知れて、よく考えるきっかけになりました。みんなが通
りの作法を守れるようなくふうをして、だれもが気持ちよく、通りやすい道になっていけばい
いなど思いました。自分でも、もっと通りの作法を考えたり、気をつけていきたいです。